

平成 23 年度
神奈川県立厚木高等学校同窓会
通常総会



平成 23 年 6 月 25 日
於 厚木商工会議所

平成 23 年度通常総会 次第

会場 厚木商工会議所 5階大ホール

司会進行 事務局長 杉田泰繁

○ 物故者並びに東日本大震災によりお亡くなりになられた方々へ黙祷

- 1 開会の辞
- 2 同窓会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 来賓紹介、来賓祝辞

5 議 事 (議長選出:)

- (1) 平成 22 年度 事業報告
- (2) 同 決算報告
- (3) 同 会計監査報告
- (4) 平成 23 年度事業計画 (案)
- (5) 同 本部会計予算 (案)
- (6) 平成 23 年度新役員選出 <報告: 選考委員会委員長>

6 報告事項

- (1) 学校報告
 - ①進路の状況
 - ②部活動の状況
- (2) かながわ校歌祭について

7 閉会の辞

II 講演会

講師 三栖邦博氏 (高 11 回)

演題

(講演会終了後 集合写真撮影)

III 懇親会 午後 時 分より

- 1 開会のことば
- 2 乾杯
- 3 懇談
- 4 校歌斉唱、万歳三唱
- 5 閉会のことば

平成22年度事業報告

日時	事業名	備考(参加人数)
4月13日	創立108周年開校記念日 校内役員会と本部打ち合わせ	
5月4日	第10回地引き網会	108名
5月8日	第60回伊勢原戸陵会総会(還暦祝い)	58名
5月16日	関西戸陵会設立総会	34名
5月16日	第11回大和戸陵会総会	26名
6月5日	理事会	
6月19日	第20回愛川戸陵会総会	44名
6月20日	第7回海老名戸陵会総会	32名
6月27日	平成22年度通常総会	110名
7月3日	第23回座間戸陵会総会	41名
7月11日	第2回睦合戸陵会交流会	30名
7月24日	厚木戸陵会総会	18名
7月25日	厚木連合戸陵会通常総会	55名
8月28日	平塚戸陵会総会	21名
8月29日	校歌祭練習会	85名
9月12日	第22回相模原戸陵会総会	63名
9月25日	第5回青春かながわ校歌祭	146名
11月6日	思い出の杜に親しむ会	50名
11月13日	第42回秦野戸陵会	32名
11月27日	理事会	
平成23年		
2月6日	津久井戸陵会総会	20名
3月6日	第13回御所見戸陵会総会	27名
3月10日	平成23年版「会員名簿」発行	

平成22年度 収支決算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

厚木高校同窓会
(単位:円。 -:減収 ▲:支出過)

	項 目	予算額	決算額	増 減	
収入の部	1 会費	3,500,000	2,430,000	-1,070,000 年会費 570人、10年 55人、終身 10人	
	2 入会金	2,170,000	2,198,000	28,000 314人	
	3 寄附金	200,000	137,000	-63,000 会費納入者からの寄付金	
	4 総会懇親会参加費	270,000	231,000	-39,000	
	5 雑収入	5,735	6,377	642 預金利息、名簿販売代金等	
	6 前年度繰越金	6,869,265	6,869,265	0	
	収入合計 (A)	13,015,000	11,871,642	-1,143,358	
支出の部	1 事業費	3,920,000	3,140,366	779,634	
	① 各支部等活動参加費	400,000	260,000	140,000	
	② かながわ校歌祭	400,000	654,200	▲ 254,200	
	③ 憶い出の杜維持管理費	400,000	336,000	64,000	
	④ 地引き網開催費	100,000	50,000	50,000	
	⑤ 同期会等活動助成費	900,000	660,000	240,000	
	⑥ 茅賞	70,000	63,941	6,059	
	⑦ 部活動補助費	450,000	450,000	0	
	⑧ 卒業記念品	200,000	190,575	9,425	
	⑨ 厚高新聞購入費	500,000	475,650	24,350	
	⑩ 同窓会資料室整備費	500,000	0	500,000	
	2 管理運営費	4,270,000	3,177,079	1,092,921	
	① 総会等開催費	850,000	708,883	141,117	
	② 出張交通旅費	170,000	47,180	122,820	
	③ 通信費	50,000	74,270	▲ 24,270	
	④ 印刷複写費	120,000	128,100	▲ 8,100	
	⑤ 会費振込等手数料	130,000	84,529	45,471	
	⑥ 事務用品費	200,000	16,067	183,933	
	⑦ 会議費	550,000	527,482	22,518	
	⑧ 組織運営費	2,000,000	1,439,991	560,009	
	⑨ 慶弔費	100,000	135,577	▲ 35,577	
	⑩ 交際費	100,000	15,000	85,000	
	3 広報活動費	900,000	769,056	130,944	
	① 広報活動検討費	400,000	218,400	181,600	
	② 同窓会報発行費	500,000	550,656	▲ 50,656	
	4 雑費	50,000	7,722	42,278	
	5 予備費	875,000	2,000,000	▲ 1,125,000 母校教育活動支援基金に支出	
	6 定期預金振替	3,000,000	0	3,000,000	
	支出合計 (B)	13,015,000	9,094,223	3,920,777	
		次年度繰越金(A)-(B)	0	2,777,419	

平成22年度母校教育振興基金収支決算書
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:円)

(1) 収入の部

前年度繰越金	1,750,733
同窓会本部会計から振替	2,000,000
高校28回卒同期会より寄附	230,000
雑収入	472

合計 3,981,205 ①

(2) 支出の部

製氷機購入代金	102,197
グラウンド外周ランニングコース新設工事代金	1,993,740
振込手数料	1,365

合計 2,097,302 ②

(3) 残 金 ① - ② より 1,883,903
(平成23年度へ繰り越し)

平成22年度部活動支援基金収支決算書
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:円)

(1) 収入の部

前年度繰越金	2,409,281
津久井支部より寄附金	36,000
雑収入	499 (預金利息)

合計 2,445,780 ①

(2) 支出の部

ダンスドリル部	211,760
女子ソフトテニス部	74,000
山岳部	67,912
文芸部	58,428
弓道部	80,760
吹奏楽部	188,950
新聞部	54,300

合計 736,110 ②

(3) 残 金 ① - ② より 1,709,670
(平成23年度へ繰り越し)

平成23年5月17日
厚木高校同窓会

財 産 目 録

平成23年3月31日 現在

(単位:円)


1、現金	106,217
2、普通預金	2,671,202
3、定期預金	5,000,000
4、母校教育振興基金	1,883,903
5、部活動支援基金	1,709,670


正 味 財 産 11,370,992

監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高等学校同窓会 平成22年度の会計について
帳簿等を慎重かつ厳正に監査した結果、正確に整備・記帳されて
いて、その内容はいずれも適正であると認めます。

平成23年5月17日

会計監査 佐藤 裕洋 

会計監査 大津 博康 

平成23年度事業計画（案）

日時	事業名	備考
4月12日	新入生オリエンテーション 応援団OB会による「校歌指導」	
4月13日	創立109周年開校記念日	
5月4日	第11回地引き網会	鵜沼 堀川網
5月14日	伊勢原戸陵会総会	
5月29日	平塚戸陵会総会	
6月4日	理事会(13:30より)	
6月12日	座間戸陵会総会	
6月18日	愛川戸陵会総会	
6月19日	関西戸陵会総会	
6月25日	平成23年度通常総会(13:30より) 閉会后 懇親会を開催	厚木商工会議所
7月24日	厚木連合戸陵会総会	
8月28日	校歌祭練習会	厚高 中庭
9月23日	第6回青春かながわ校歌祭(12:00より)	神奈川芸術劇場
10月8日	第23回相模原戸陵会総会	
11月上・中旬	思い出の杜に親しむ会	
11月中・下旬	理事会	
11月	秦野戸陵会総会	
2月	津久井戸陵会	
3月	御所見戸陵会	

平成23年度 予算(案)

単位:円

項 目		予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1 会費	2,970,000	3,500,000	▲ 530,000	
	2 入会金	2,170,000	2,170,000	0	7,000円×310人
	3 寄附金	150,000	200,000	▲ 50,000	
	4 総会懇親会参加費	255,000	270,000	▲ 15,000	
	5 雑収入	5,581	5,735	▲ 154	
	6 前年度繰越金	2,777,419	6,869,265	▲ 4,091,846	
	収入合計 (A)	8,328,000	13,015,000	▲ 4,687,000	
支出の部	1 事業費	3,520,000	3,920,000	▲ 400,000	
	① 各支部等活動参加費	400,000	400,000	0	
	② かながわ校歌祭	400,000	400,000	0	
	③ 憶い出の杜維持管理費	400,000	400,000	0	
	④ 地引き網開催費	50,000	100,000	▲ 50,000	
	⑤ 同期会等活動助成費	700,000	900,000	▲ 200,000	
	⑥ 茅賞	70,000	70,000	0	
	⑦ 部活動補助費	300,000	450,000	▲ 150,000	3万円 × 10部
	⑧ 卒業記念品	200,000	200,000	0	
	⑨ 厚高新聞購入費	500,000	500,000	0	
	⑩ 同窓会資料室整備費	500,000	500,000	0	
	2 管理運営費	3,383,000	4,270,000	▲ 887,000	
	① 総会等開催費	710,000	850,000	▲ 140,000	
	② 出張交通旅費	100,000	170,000	▲ 70,000	
	③ 通信費	80,000	50,000	30,000	
	④ 印刷複写費	150,000	120,000	30,000	
	⑤ 会費振込等手数料	110,000	130,000	▲ 20,000	
	⑥ 事務用品費	80,000	200,000	▲ 120,000	
	⑦ 会議費	550,000	550,000	0	
	⑧ 組織運営費	1,423,000	2,000,000	▲ 577,000	
	⑨ 慶弔費	130,000	100,000	30,000	
	⑩ 交際費	50,000	100,000	▲ 50,000	
	3 広報活動費	850,000	900,000	▲ 50,000	
	① 広報活動検討費	300,000	400,000	▲ 100,000	
	② 同窓会報発行費	550,000	500,000	50,000	年1回発行
	4 雑費	50,000	50,000	0	
	5 予備費	525,000	875,000	▲ 350,000	
	6 定期預金振替	0	3,000,000	▲ 3,000,000	
	支出合計 (B)	8,328,000	13,015,000	▲ 4,687,000	

第6回青春かながわ校歌祭について

1. 主催

かながわ校歌振興会（参加同窓会の集まり）。神奈川県教育委員会が共催。
今年も、参加同窓会出身の県議会議員が参与会を構成し、応援する。

2. 日時

平成23年9月23日（金・秋分の日） 正午～午後5時

3. 会場

神奈川芸術劇場（みなとみらい線・「日本大通り」下車徒歩5分）

4. 参加校 25校

秦野 希望ヶ丘 横浜平沼 小田原 厚木 厚木東
横須賀大津 小田原城内 横須賀 上溝 神奈川工業
横浜翠嵐 横浜商工 湘南 平塚江南 逗子 横浜緑ヶ丘
平塚農業 秦野総合 川崎 横浜立野 港南台 光陵 鶴見
吉田島総合 初参加校1校・・・・・・・・追浜 以上26校

5. 校歌祭における厚木高校同窓会の役割と校内役員

実行委員会・副委員長（近藤俊二） 会計（石塚 修） 会場（山口 薫）
校内・・・実行委員（梅沢行次） 舞台（石川芳雄） 会場（森住照雄）

6. 厚木高校の参加体制について

同窓会員・・・同窓会総会や各支部での呼びかけによる自由参加を基本とするが、一部動員体制も考える。（10～5名ほど）
本年度は、綾瀬・大和・荻野・小鮎・津久井・清川支部に動員のご協力をお願いし、総勢70名ほどで参加したい。
現役生徒・・・昨年参加した軽音楽部と新たに生徒会有志が参加を希望しており、30数名規模となりそうです。

7. 練習会

8月28日（日）午後1時半から練習会を学校で行う。本年は、校歌の他に第2応援歌（ああ青春の誇りなる・・・）も歌う。当日の集合時間、バスの発着時間、服装、振り付け、懇親会について等全てをここで連絡する。

8. 校歌祭終了後の懇親会について

第1・第2・第5回とも歌い終わってから山下町のホテルに向かい、盛大な打ち上げを行った。今年も同じ。芸術劇場はローズホテルの真ん前です。

9. 本年の実行委員長は、小田原高校同窓会長が務めます。

三栖邦博 (みす くにひろ)

昭和 16 年 3 月 26 日生 (70 歳)

一級建築士、シンガポール国登録建築家、APEC 登録建築家、バラ大学 (Barat College, Lake Forest, Illinois, USA) 名誉博士

現在

- (株) 日建設計・顧問
- (社) 日本建築士事務所協会連合会・会長
- (社) 東京都建築士事務所協会・会長
- (社) ニューオフィス推進協議会・会長

経歴

昭和 34 年・神奈川県立厚木高等学校卒業
昭和 38 年・東京工業大学工学部建築学科卒業、同大学院へ入学
昭和 39 年・同大学院を中退渡米、イリノイ工科大学 (Illinois Insitute of Technology, 米国シカゴ市) 大学院建築学専攻修士課程入学
昭和 41 年・同大学院卒業、Skidmore, Owings & Merrill 建築設計事務所 (米国シカゴ市) 勤務の後、昭和 43 年・日建設計工務 (株) {現・(株) 日建設計} 入社
平成元年・取締役国際事務所長に就任、常務取締役東京本社副代表、専務取締役社長補佐を経て、平成 12 年・代表取締役社長就任
平成 16 年・会長、平成 20 年・顧問に就任、現在に至る

この間、(株) 日建設計インターナショナル取締役社長、(株) 日建設計シビル代表取締役社長・同会長、Nikken Sekkei Partnership (シンガポール) 首席パートナーを歴任。

また、昭和 60 年～62 年・東京工業大学建築学科非常勤講師、平成 17 年～22 年・国土交通省社会資本整備審議会専門委員、平成 18 年～現在・国土交通省中央建築士審査会委員などの公職を歴任。

著書に、

「オフィスルネッサンス」(共著、彰国社、昭和 61 年)、「超高層事務所ビル」(共著、市ヶ谷出版、昭和 62 年)、「新・超高層事務所ビル」(共著、市ヶ谷出版、平成 12 年)「日本 IBM 本社ビル 1971～2009」(共著、新建築社、平成 22 年)がある。

主な設計経歴は

日本アイ・ビー・エム本社ビル（昭和46年、東京・六本木）

住友スリー・エム本社ビル（昭和49年、東京・用賀）

厚木市文化会館（昭和53年、神奈川・厚木）

伊藤忠商事東京本社ビル（昭和55年、東京・青山）

青山学院大学厚木キャンパス（昭和57年、神奈川・厚木）

中国国際貿易センター（平成2年、中国・北京）

日本電気本社ビル（平成2年、東京・三田）

アユタヤ歴史資料館（平成2年、タイ国・アユタヤ）

オーシャンタワーズ（平成3年、シンガポール）

在インド日本大使公邸（平成4年、インド・ニューデリー）

イスラム開発銀行本部ビル（平成5年、サウジアラビア・ジェッダ）

敦煌石窟文化財保存研究・展示センター（平成6年、中国・敦煌）

ホテル日航クアラルンプール（平成7年、マレーシア・クアラルンプール）

カイロ大学看護学部（平成7年、エジプト・カイロ）

在中国日本大使公邸（平成8年、中国・北京）

士林電機本社ビル（平成9年、台湾・台北）

さいたま広域合同庁舎（平成11年、埼玉・新都心）

パシフィックセンチュリー丸の内ビル（平成13年、東京・丸の内）

「建築のはなし」

日建設計のこと

個人名を冠しない設計事務所
組織で仕事をする技術者集団
永続する価値を追求する設計
グループ会社含め 2500 人の世界有数の設計事務所に

良い建築とは、

「用、強、美」に優れる建物、ギリシャ時代から不変の真理
しかし、今は、「用、強、美」+「環境性能」
建物の公共的価値の認識「私のお家はみんなの景色」

建築と地球環境

地球温暖化ガス排出の 1 / 3 は建築関連分野
そのうち、1 / 3 は建物の工事、1 / 3 は住宅から、1 / 3 は業務用ビルから
削減には建物の省資源化と長寿命化が鍵

省資源化は自然エネルギーの活用が第一

遮熱・断熱・蓄熱、自然採光・自然通風の導入
地熱、気化熱の利用
都市環境（微気候、緑地、水面）も重要

長寿命化は良質な建築の次代への継承

建築の寿命は日本 35 年、米国 70 年、西欧 100 年
可変とゆとり「持続とは変化することである。」
更新性能・スケルトンインフィルの考え方、

海外に建てる作法

ものを売るのでなく、風景や文化の形成という視点
気候、風土、文化、生活の尊重
地元の建築家との協働

スカイツリーについて

タワー設計のノウハウ・東京タワーからスカイツリーへ
伝統的美意識と科学的合理性の結合
新しいまちづくりの起爆剤
「こと」を創ることの意味

校歌

作詞 荒川義治
作曲 深山桂

一、戸室の丘辺旭日さして

三剣光り輝く見ずや

阿夫利の高嶺相模の流れ

高きに憧れ長きを慕う

相州健児 あ、わが友

二、文化の流れ渦巻くところ

御国の理想いかしく立てり

剛毅のかいに和平のかじに

いざ国進めん雄々しく猛く

相州健児 あ、我が友

三、我等は若し我等は強し

我等の前途光明みてり

思えば昔御国の為に

尽くせし祖先の功は高し

相州健児 あ、我が友